

平成 29 年 11 月に実施した放送番組審議会（印西市・八街市・栄町・酒々井町）について議事録を掲載いたします。

会議名： 株式会社広域高速ネット二九六

平成 29 年度 印西市・八街市・栄町・酒々井町 放送番組審議会

日時： 平成 29 年 11 月 16 日（木） 11:00-13:30

場所： 広域高速ネット二九六 通信技術センター会議室

出席者： 番組審議委員および弊社役員・社員 12 名

■出席委員

伊藤 武雄 委員	八街商工会議所 専務理事
大木 弘 委員	印西市教育委員会 教育長
小坂 明宮己 委員	酒々井町商工会 副会長 (酒々井町商工会 会長 大谷 文男 委員 代理)
木村 俊幸 委員	酒々井町教育委員会 教育長
柴崎 達夫 委員	印西市商工会 理事
葉山 幸雄 委員	栄町教育委員会 教育長
安永 順子 委員	ボランティアグループ「けやきの会」代表

【御欠席】 加曾利 佳信 委員 八街市教育委員会教育長

■株式会社広域高速ネット二九六 出席者

藤本 光弘	代表取締役社長
伊藤 完	取締役営業本部本部長
足立 周	取締役管理本部本部長
西田 雄郎	取締役技術本部本部長
藤本 健太郎	営業本部放送制作部部長

番組視聴 (計約 60 分)

■今年度制作・放送した番組

「北総探訪～千葉県初！日本遺産 江戸を感じる四都市物語～」

(60分番組／11月16日～30日放送) ※4K制作

番組審議

■<柴崎 達夫 委員 印西市商工会 理事>

素晴らしいの一言に尽きると思います。それぞれの町の特徴や伝統的なものも網羅されていてすごいなと思いました。この1時間という番組の時間についてですが、ちょっと入りきらない部分があれば2部作に分けてもう少し長い時間放送する方法もあるし、軽く見たいなというときにダイジェスト版みたいなもので30分くらいで見られて、あとは現地に行ってみようというような構成でやるのも良いのではないかとも思いました。バランスの良い1時間でまとめたのが良いのかもかもしれませんが、そんなことを少し感じました。

これをいろいろな方に見てもらってこの素晴らしい北総の観光地・名所を紹介していくべきだと思いました。私自身この四都市は何度も訪れているところですが「こういうところもあったのか」と再認識したところもありました。

■<伊藤 武雄 委員 八街商工会議所 専務理事>

「北総探訪」ということで拝聴したのですが、とても素晴らしかったです。すぐ近くに住んでいてもなかなか行ったことがないところを、あらためて映像で確認できました。それと佐原の大祭を見ていて感じたことがあります。八街にも秋祭りがあってお囃子がありますが、これは八街で聞いたのですが、佐原のお囃子を八街も引き継いでいるということらしいのです。先ほどの映像の中で曲がそっくり同じだなと実感しました。

あと実績報告の中で新しい番組がいくつか入っていてよろしいのではないかと思います。

それと、視聴者プレゼントを募集するというのもあっても良いのではないかと思います。八街だったら落花生とかジンジャーとか何パックか無償で提供できるコーナーがあっても良いのかなと思いました。

■<大木 弘 委員 印西市教育委員会 教育長>

毎回ここで番組を見せて頂きますが、今回も本当に良い番組を作っていただけたなという思いです。印西市に住む私としては、羨ましい限りです。もし機会があれば、印西に関係ある内容でこういう番組を作っていただけたら嬉しいなと思います。4つの都市を60分の番組でまとめるということで、興味を持って見させていただきました。どの都市も、佐倉・成田・佐原・銚子、県外の方々も名前くらいは知っている都市ばかりです。その4つの都市がひとまとめにして日本遺産として認定されているのですが、それを十分に伝えられていた番組だと思いました。

町並みと建物、食、文化、祭、こういう視点で4つの都市の特徴を紹介している番組だったと思いますが、町並みと建物・祭が一番有名なものが紹介されたと思うのですが、食と文化は難しかったらと思います。佐倉のおそば屋さん、私もよく行きますが、ほかに「房州屋さん」というのもございまして、おそばにお酒かけて食べるという・・・びっくり仰天な感じで時々民放でも紹介されたりします。成田のうなぎも美味しいうなぎ屋が他にもたくさんあって、そこを選んだのはご苦労もあったと思います。佐原・銚子でも他にもお店がありますが、編集会議で相当議論になったとは思いますが、その辺のところに興味があるので、どういう議論があってその店を紹介したのか知りたいです。業界の人からすると「どうして川豊を紹介して、どうしてうちじゃないんだ」

というところもあるかもしれませんが、その辺のお話を聞きたいです。

文化についても、美術館、三橋薬局など、当然取り上げた意図があったと思うのですが、どうしてそこを取り上げたのかという意図をお聞かせ願えればありがたいと思います。

地元の人も気が付かないところにスポットを当てて、番組を紹介してくれたのがとても良かったです。とかく日本人というのは隣が良く見えるということで、海の向こうのほうが良く見えてしまうものです。自分の住んでいる地区の良さに気が付かないということがあります。これは学校教育を行っている私たちにとっても地元に住んでいる子供たちが地元の良さがわからずに、遠いところの学校などに行って時間を過ごすということがあります。もっと地元を知ると、外の違う面の良さを感じることができるのではないかと思います。まず地元を知ることが大事だと思っています。そういった面でも、こちらで作られている番組はいずれも大変貴重で素晴らしいと思います。今後もさらに素晴らしい番組を作ってほしいと思います。

<制作担当：放送制作部課長補佐 吉橋英弘>

今回は歴史がひとつポイントになっていますので、川瀬屋は堀田の殿様に納めていたという事実もございまして、歴史的な背景もあります。ただ食を楽しむだけでなくそこで食べながら、実はこの蕎麦は堀田家でも食べられていたということを感じてもらえたら、ただ食べ物を楽しむだけではなくちょっと歴史的なこと・文化的なことも楽しめるのではないかなということで今回は川瀬屋を選んでおります。

うなぎに関しては、生きたうなぎを扱っている、そこで捌いているというのが成田参道の中でも珍しいのと、過去に他のうなぎ屋を何軒も紹介していますがそこは重ならないという配慮もしました。プラス生きたうなぎを扱っていること、それから創業当時から醤油を継ぎ足して使っているというところが、番組内で醤油を紹介するところでも感じさせたかったので、今回川豊を選んだという経緯があります。

■<小坂 明宮己 委員 酒々井町商工会 副会長> (酒々井町商工会 会長 大谷 文男 委員 代理)

はじめは1時間は長いと思いましたが、見てみると大変楽しく、逆に短く感じました。それだけ内容とか、私の興味を引いていたというのもあるのですが、そういった第一印象です。

あともうひとつ皆さんも仰っていましたが、映像が4Kということでもとてもきれいでした。8Kになるともっときれいかなと、期待を持ちました。今の4Kでも十分きれいでございます。私は成田で育っていて町並みをよく知っていますが「こんなにきれいな町並みだったかな」と。撮影者の技術なのか、自分の目が節穴なのかわかりませんが再認識しました。

■<木村 俊幸 委員 酒々井町教育委員会 教育長>

今日も大変良い映像を拝聴いたしました。今日は4Kということですが、どれくらいきれいかといえば多分きれいだったと思います。4Kと2Kと同時比較できないので、どちらがどのくらいきれいだったかわからないが、きれいでした。そこで4Kならではの映像を一般人が見て「なるほど2Kでは見えないが、4Kだからここまで見えるね」というのはあるのでしょうか。2つ並べて「こちらが繊細だね」というのはわかるかもしれませんが、普段テレビ画面を見ていて我々が気が付かないようなことが、ここでわかったというようなことはあるのでしょうか…というのがまず1つ目の質問です。

それと本日の番組ですが、私たち学校関係者は子供たちに夢を持たせるとか希望を持たせるとか、私は酒々井町ですが、酒々井という町に愛着とか誇りを持つことを願っているのですが、そういった意味ではこのような番組が、今回は印旛地区としては佐倉市と成田市が挙げられているのですが、佐倉・成田の子供たちも映像を見て

自分たちの町に誇りを持ったり愛着を持ったりするのではないかと思います。これ一回だけじゃ心に根付くかはわかりませんが、かなりインパクトはあると思います。ぜひこういった番組は、今回は四都市物語でしょうが、私たちの酒々井町でもやっていただけたらありがたいと思います。いろんな市町村で取り上げていただけるとありがたいと思っています。

大木委員のお話と少し重なるのですが、例えば川瀬屋さんが出てきましたが、古くからやっている蕎麦屋だとか醤油を作っているとか事実もよいのですが、私はこの間、造り酒屋に行く機会がありました。酒々井町には飯沼本家という酒屋がありますが「何でここにあるのか」というのがなかなかわからない。酒々井は水がきれいということで出来たと言われているが、「なぜ、ここなのか、馬橋なのか」ということがわからない。そもそもなぜここなのかということ。神崎では、昔は利根川が水運の便が良いということがあったようだが、ではなぜそこなのかというのを聞くと、いやそれはわからないということでした。実は初代の誰々が修行していて、実は親元に戻ってきて継いだ・・・などという物語があれば知りたいと思いました。それから四都市物語ということで、祭りを繋ぐというのはいいのですが、どんな繋がりがあるのかという祭りの繋がりを知りたいと思いました。もう少し掘り下げてよいのではないのでしょうか。

<放送制作部部長 藤本健太郎>

4K は細部が良く見える、ディテールがきれいに見られるのが特徴です。よく言われるのは、サッカーの試合などで、ズームアップした映像を撮らなくてもボールや選手の動きがきれいに見えるとされています。撮影方法としてはカメラをなるべく動かさないのが基本です。画面が鮮明過ぎるので酔ってしまうということがあるので、あまり動かさない（フィックス）で撮影するように指導しています。

<制作担当：放送制作部課長補佐 吉橋英弘>

4K の特徴としてもうひとつ、暗いところでも照明を使わずに暗がり撮影できるということがあります。祭りの取材などでは照明を当ててしまうと雰囲気壊れてしまうことがあるのですが、4K のカメラの場合照明を使わずに山車のすれ違いなどの暗がりもきれいに撮影することができます。

ご指摘の通り、四都市の特徴をどのように見せるのかということ、かなり迷いました。四都市に繋がりがあまりなく、どのように見せるか大変悩みながら番組制作を行いました。

■<葉山 幸雄 委員 栄町教育委員会 教育長>

鮮明ですばらしいなという感想をもちました。今回は四都市を巡るということで、繋がりとかではなく、四都市の紹介としてみれば、とても素晴らしい番組と思いながら拝見しました。

私は教育に携わる者として、学校現場では子供たちにも、いずれは素晴らしい4K映像で見てもらいたいなと思っています。そこで、学校で4Kとか8Kが見られるようにするにはどのような費用（設備）がかかるのか気になります。昔は学校がカルチャーの先端だった（私たちが子どもの頃は学校に行けばテレビがあるといったような）が、今は家庭のほうが進んでいます。学校が遅れているというのが実情です。この辺をどうしていくのかということをも考えさせられました。

また栄町もそうですし成田にも多くの外国人がみえますよね。こういう番組を外国人の方にはどんな風に紹介していくか。外国人にどんな風に発信するのか。現在、成田空港を利用するトランジットの外国人にちょっと観光を楽しんでもらおうということで、色々検討していますが、まだ実現はしていないのですが、こういう番組を外国人に見てもらおうというのも良いと思いました。ただ、外国人にどのように紹介していくのか、そのために

どんな方法があるのか。メディアの力は大きいのでその辺も考えてほしいです。

それから、高齢者の健康増進や健康保持をどのようにするのか。世間では健康体操や運動を紹介するとお年寄りが飛びつくという実情もあります。栄町でも健康ブームということで、体操教室・健康教室などを企画していますが、そんな番組を作っていたいただいてもいいかなと思いました。

■<安永 順子 委員 ボランティアグループ「けやきの会」代表>

四都市それぞれの特徴を紹介してくれていて、もっと勉強して改めて訪れたいという感想をもちました。隣の成田市についてもこうして映像で見ると今まで知らなかった新たな部分も知ることができました。しっかりと勉強することができました。

冒頭の挨拶の中で健康作りの番組の話もありましたが、栄町でも現在急速に高齢化が進んでいます。35年前、私の住んでいる住宅地では、新築の住宅の間にパラパラと土地があるという風景でした。今はパラパラと空き家が目立つようになってきたと感じます。高齢化社会と言われ、寿命も延びてきていますが、健康長寿には食生活が大切です。そこで栄町では、口の字を入れて「健口（けんこう）体操」というのを作っています。やはりただ長寿ではなく、健康寿命を延ばすことが大切だと考えています。

今月は多世代交流ということで焼き芋大会を行います。焼き芋を配るのですが、お芋だけ4本もらっていいですかというか家族がいました。家族で来たいけど、もう全員では来られないということでした。

子育て番組も必要だと感じています。町では今後のことを考え、若い世代に移り住んできてもらうことに力を入れています。子育てサポートなどに力を入れているので、そうしたちょっとした情報を番組を通して発信してもらえたらありがたいです。ふれあいプラザさかえに「アップル」というセンターがあります。いろんな情報交換などをしてとても良い場所になっています。そうした健康づくり、子育てサポートにもぜひ力を貸してもらえたらと思います。

<代表取締役社長 藤本光弘>

様々なご意見ありがとうございます。

先ほどご質問のあった外国語放送についてですが、現在の私たちの番組を二ヶ国語放送にするというのは現在のところ難しい話ではあります。ただテレビ番組は20年後には今の放送の仕組みではなく、インターネットでの放送になると思います。テレビ放送だが実際はNETのLANをつないでテレビを見るという時代が来ると思います。間違いなくその時代になっていくと思います。そうなれば今より様々な付加価値をつけることが容易になります。ボタンひとつで翻訳を行うということもずっと簡単になるでしょうし、英語だけでなく、中国語など多言語に翻訳するといったことができるようになると思います。テレビに通信回線を繋ぐ、将来はそういう時代になっていくということです。

閉会挨拶<伊藤 完 取締役営業本部本部長>

本日はお忙しい中、番組審議会にご出席いただきありがとうございます。番組についていろいろとご意見を頂きましてありがとうございます。

「北総四都市」の番組はそれぞれの都市の特徴があり、とても作るのが難しゅうございました。番組作りについては、地域メディアとしてどういった番組を作ればよいかと日ごろから考えております。その中で、やはりこの土地の歴史や文化などそういったものをしっかり取り上げて多くの皆さんに見ていただくことが大事だとも思っています。視聴者の皆様に、こんな素晴らしい町があったのかと感じていただけるような番組が制作できれば

と思っています。とにかく地域メディアとして役割を果たして行きたいと思っています。特に災害時、テレビを通じてお客様に安心安全を届けて行きたいと思っています。

本日頂いたご意見を参考に、今後しっかりと頑張っ参ります。本日は誠にありがとうございました。

以上